

緑の風



あわたち たかこ
粟田口 多賀子



わだ くみこ
和田 久美子



あらい あけみ
荒井 朱実



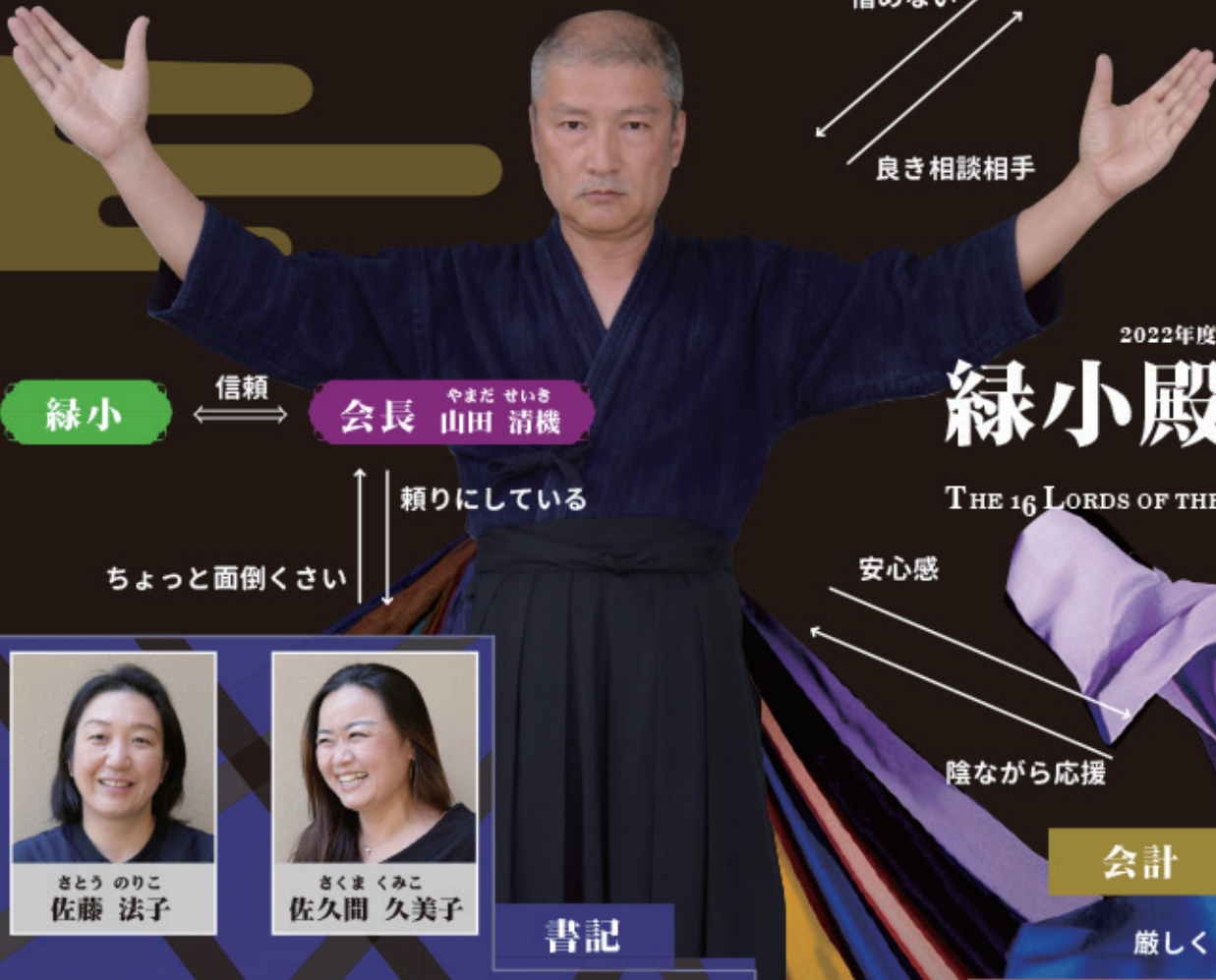
ひじかた えりな
土方 英里名



しげた かえ
繁田 賀絵



くりた やすよ
栗田 泰代



親近感

手が掛かるけど
憎めない

副会長

良き相談相手



たかはし あきこ
高橋 晃子

2022年度 P.G.T.

緑小殿の16人

THE 16 LORDS OF THE MIDOSHO

緑小

信頼

会長 やまだ せいき
山田 清機

頼りにしている

ちょっと面倒くさい

安心感

陰ながら応援

会計



くさか かおる
日下 薫

厳しく Check!

書記



さとう のりこ
佐藤 法子



さくま くみこ
佐久間 久美子



おくやま あつこ
奥山 敦子



こばやし ひろみ
小林 ひろみ



ただ ゆみ
多田 由美



くまざわ かつら
熊澤 香都良



こすげ ひより
小菅 日和

会計監査

火の神さま、ありがとう！

5月17日(火)・18日(水)に、5年生のキャンプが行われました。2年ぶりの宿泊行事に、5年生でなくとも、うれしい気持ちになった方も多と思います。当日はあいにくの雨……。でも、5年生の想いは、足柄の火の神さまに通じたようです！



雨で屋外活動ができなかったけれど、竹箸づくりを楽しみました！



夕食はレトルトカレーとホットドッグ。みんなで協力して火をおこしたよ！

原田先生より
当日は、残念ながらの雨。フィールドワークはできませんでしたが、「やりたい！」という熱い想いが通じたのか、ファイヤー前には止み、踊り、歌い、楽しむことができました。

5-1担任 原田先生



根本先生より
クラスでたくさん話し合いの場を設け、自分たちなりの精一杯のスタンプを披露することができました。みんなが全力で行ってとても迫力がありました！

5-2担任 根本先生

私は火の神である。火は暗闇を照らし、ものを作ることで役立ってきた。5年生のみなさんには、友情、愛情、希望、信頼の4つの火を授ける。これからの時代を生きるみなさんに、心の中に灯し続けてほしい火である。

※スタンプ：キャンプファイヤー中に行われる出し物のこと

そらまめの赤ちゃんいたよ！

1年生そらまめむき体験！

ピカピカの1年生、ランドセルを背負う姿も様になってきた5月25日(水)1時間目、学校栄養士の江口先生から、この日の朝に八百屋さんから届いたばかりのそらまめの話を聞き、早速そらまめのさやむきにチャレンジしました。

2年生ヤゴとり / 今年は大収穫、つかみ放題!!

5月30日(月)の2時間目。気温は27度、天気は晴れ。汗だくなるほどの晴天でした。昨年は実施されなかったプール活動に向け、プール清掃が行われる前に、2年生によるヤゴとりが行われました。



天空のプールへようこそ
いつもは開かずの扉の先に、はじめて踏み入れます
ヤゴ祭り!!!
プールをのそくとヤゴが見える!
大収穫っ!!

みんなでやれば楽しい! 6年生に感謝! Let's プール清掃!

小雨が時折降る5月最終日。6年生みんなでプール清掃をしました。側溝の汚れをブラシでゴシゴシ。底のヘドロをせっせと運び、磨いてもなかなか取れない黒カビに四苦八苦。それでもみんなで作業するうちに楽しくなってきた、時折笑い声も上がります。時間ぎりぎりまで掃除をがんばる姿が頼もしかったです。そして放課後、最後の仕上げに職員のみなさんも総動員!子どもたちが気持ちよくプール活動できるように、落ちきらなかった黒カビをひたすらこすります。その甲斐あって、プールの底はみるみる綺麗になっていきました!



みんなでやると楽しくなってきたぞ
冷たくて気持ちいい~!
溝掃除も大変だよ

思った以上に汚くてびっくりしました。綺麗になってうれしい。
N.Tさん

汚れを取るのが大変でした。みんなで掃除するのは楽しかったです。
M.Oさん

ヤゴを捕まえられてうれしかった。
K.Sくん

友だちと助け合いながら掃除できて楽しかったです。
S.Hくん

掃除をしているうちに子どもたちが楽しさを見出して、みんなでやる良さを感じました。
6-1担任 室田先生

子どもたちみんな、掃除をやりたいと言ってくれてうれしかったです。
6-2担任 村上先生

3年生・カイコの飼育 生命に触れていのちを学ぶ

緑小では、3年生の理科の授業でカイコを育てます。理科を担当するのは斎藤直人先生。カイコを大切に育て、触れ合いながら、「いのちをいただく」意味を学ぶ授業だと教えてくださいました。虫が苦手な子もいますが、先生は、少しずつ慣れてくれるのを待ちます。実際子どもたちは、先生の想像以上に、積極的にカイコと触れ合っているそうです。週末は子どもたちが順番にお家でお世話をし、1~2カ月でまゆになります。きれいなまゆになったら、サナギを取り出します。子どもたちはそのまゆを使って、生糸をとるかわりに、目や口をつけてまゆ人形をつくりまわります。



くわの木は学校に一本だけ。カイコの餌となるくわの葉が足りなくなって困ってしまうそう。
横浜市のシルク博物館からやってきたよ!
脱皮している!すごい!

授業で紹介された絵本
『いのちをいただく』
みいちゃんがお肉になる日
原案：坂本義喜・作：内田美智子

~豆知識~
カイコは数千年の歴史の中で人々の生活を支える家畜として大切に育てられてきた昆虫。よって、一頭、二頭と数えます。



緑の子アート 2022・全56作品一挙公開!!

テーマ
みどりの夢

6月24日(金)、学年を縦割りに1チーム5~7人の計56チームに分かれ、各チームで一つの作品を仕上げました。



1人1台タブレットで学びはどう変わる？～4年生のある日の授業～

全国の児童・生徒1人に1台のコンピューターと、高速ネットワークを整備する文部科学省の取り組みを「ギガスクール構想」と言います。茅ヶ崎市でも、昨年度までに公立の全児童・生徒へタブレット端末が配備されました。導入から1年、子どもたちは実際どのようにタブレットを使用して授業を受けているのでしょうか。

この日、4年1組、2組共にタブレットを活用したプログラミングの授業が行われていました。子どもたちはアプリを起動し、絵を描いたり、キャラクターを動かしたり、手慣れた様子で画面を操りどんどん作業を進めていきます。

個々の画面はミラーリングで瞬時に教室の大きなモニター画面に表示。

作業は自由に、でも分かったことは即座にみんなで共有できるのがタブレット。

プログラミングソフト「ビスケット」。自分で描いた絵を簡単に動かせる。

すきま時間を利用してクラスの係活動のポスター作りをする子も。

プログラミングソフト「Scratch」。PCに指示を出すブロックを組み重ねてアニメーションやゲームを作る。

何人かの子どもたちに「タブレットを使う授業って楽しい？」と尋ねてみると、半数は「は？」「別に…」という想像していたよりもはるかに冷静な反応でした。彼らは特に構えることもなく、文房具や教科書といった学習ツールのひとつとしてタブレットを捉えているのかもしれない。

プログラミング以外にも、理科のフィールドワークに持参して写真を撮影したり、社会で調べ物をしたりと、すっかり子どもたちの学校生活に浸透している様子のタブレット。大変便利なアイテムであることは間違いありませんし、この流れはきっと止まることはなく、ますます加速していくことでしょう。ネット時代を生きる子どもたちには自分の身を守るための正しい知識と適切なマナーを身につけ、さらに活用を広げていってほしいと思います。

子どもたちと一緒に成長する植物を～花壇ボランティアによる初夏の植替え作業～

6月9日(木)、花壇ボランティアのみなさんによる植物の植替えが行われました。今期から活動範囲に加わったのは、正門外の西側に位置する花壇。植栽のテーマは「南欧風」です。茅ヶ崎と歴史的に深いつながりのあるハマボウフウや、ピンク色の小さな花を咲かせるハマヒルガオなど、海浜植物のプランターも新たに設置されました。

Q 南欧風をイメージされたとのことですが、そのポイントは？

オリーブをシンボルツリーに、ローズマリーやラベンダーなどのハーブをあしらい、地中海でよく栽培されている柑橘類のイメージで金柑の木を植えました。場所が北向きなので、あまり日当たりがよくないところでも育つ強い植物であること、通年で緑が豊かであるように葉が落ちない常緑樹であることを念頭に置いて植物を選びました。

Q 今期の抱負を一言

子どもたちが登校するときに花壇を見て気分が上がりますように。植物に興味を持ってくれたら嬉しいな！

2時間程度の作業で、校門の周辺は文字通り「緑が浜」という地名を象徴するような色とりどりの植物でいっぱいの空間になりました。

南欧風花壇の植物には共通点がある。それは、多年草(数年に渡って枯れず、毎年花を咲かせる植物)であるということです。「子どもたちと一緒に、花壇も成長していくとすれば」という願いが込められています。機会があれば校門の前で足を止めて、ぜひ花壇とその周辺の植物に目を向けてみて下さい。来年、再来年と花壇がどんな成長を見せてくれるのか、今からとても楽しみです。

緑小ひみつシリーズ

図書室のひみつにせまる!

開放的な空間につまったこだわり

緑小ひみつシリーズ第3弾!
給食室、保健室の次は、図書室へいざ潜入!

vol.3

独りよがりな図書室にはしたくないと思っています。

学校図書館嘱託員
たむら りつこ
田村 律子先生

大学時代、友人に誘われて司書の資格を取りました。子育てがひと段落した時、今度は地域の子どもたちに本を紹介できたらと思い、この職業につきました。

こだわりぬいた快適空間。図書室の間取り紹介

奥まったスペースは本に集中できるベストポジション。

性教育に関する本は、先生の目が届きやすいカウンターの近く。

田村先生がいない日は、委員さんだけで貸し出しをしてくれます。他に、選書と週1回おそうじも。

気持ちに合う色から本を手取るパレットリーディングのコーナー。

取材した6月は、梅雨にちなんだ本や、歯科検診に合わせた歯の本も。

古くなった本や2冊以上ある本は、学級文庫へ旅立ちます! それまでここで待機。

年2回、子どもたちのリクエストも参考に、田村先生が選書して下さいます。

プール掃除前のヤゴ取りにあわせたセレクトで、男の子に大人気!

授業内容に合わせるなど、学年ごとのおすすめ。

すみずみまで、何かしらの本が紹介されています。

昨年度までは、コロナで図書の貸し出しができな時期もあり、とっも寂しかったです。本が好きじゃないという子へは、初めの2、3ページを読み聞かせると、興味を持たればその先はひとりで読み進めます。図書の授業でジャンルや分類の説明もして、いろんな本を読もうねと話します。でも、大人の思惑を子どもは敏感に感じ取って、うまくいかないことが多いですね。(笑)だから、自分が好きな本を読むことがいちばんだと思います。ある時1年生が、分厚いハリーポッターを抱えていました。読まないけど、とても嬉しそうに持っているんです。憧れかな。そういう関わり方もいいですね。

抜群の開放感で休み時間を過ごす子どもたちがうらやましい!
そんな図書室にやさしい魔法をかけている田村先生が、図書室最大のヒみつだと感じました。

先生質問です!

チーム学校!

それぞれの立場に寄り添って



今回は、本年度より浜之郷小から緑小に着任された、村越さゆり教頭先生です。なかなか学校に足を運ぶ機会が少なくなり、お会いするのは初めてで、どんな先生なのか? ちよっとドキドキしながらお話を伺いました。

今回の異動で5校目となる緑小の印象を教えてください。

山側に住んでるのもあって、湘南の海を感じますね。子どもたちは落ち着いた印象です。

どうして教師になろうと思われたのですか?

元々養護教諭として26年勤めていました。小さい頃から、人のお世話をする仕事に興味があり、看護師とかいいなって思っていたところ、母から「学校の先生になつたら?」と言われ、だったら養護教諭なら両方できる!と思って養護教諭の仕事を選びました。

養護の先生をされる中で、大変だったこと、やりがいを感じることはありましたか?

大変だったのは、救急車を呼ぶほどのケガがあった時。やりがいは、元気のなかった子どもが元気を取り戻していった時ですね。担任、保護者とチームで動くことで学校全体が見えてきます。「チーム学校」という考えが大切だと思います。

どんな子ども時代でしたか?

小さい頃は木登りをしたり、ドッジボールやバドミントンなど運動が好きでした。中・高時代はバスケをやっていましたね。でも、走るのは苦手です。(笑)

養護教諭になって良かったと思うことは?

子どもの成長に関わり、成長の力になれることです。あとは給食を食べられること。(笑)

教頭先生って大変なイメージがありますが、実際なってみていかがですか?

自分のできることでできないことがある。先生方の良いところを生かしてもらい、自分にできることをやれたらと思います。それぞれの立場に立って、寄り添いたいです。

保護者のみなさんにメッセージをお願いします。

子どもを愛していただく、それだけでじゅうぶんです。愛情を受けたことは子どもにも伝わり、生きる力になっていくと思います。悩みがあれば、担任や管理職など話せる人を見つけてください。あきらめないで伝えてきて欲しいと思います。

終始にこやかに話される村越先生。長年養護教諭をされてきただけあって、つついいろいろなことを相談したくなる愛情深さを感じました。お話の中で「今は何でも選べる時代。ありすぎるから大変ですね。その中で何を選ぶかが大事です。」という言葉が印象的でした。お忙しい中、本当にありがとうございました!

(インタビュー・6月16日(木)実施)



教頭
むらこし さゆり
村越さゆり先生

休みの日は家族とウォーキングします!



小さい頃はおぼけが怖かったんです



甘いものが大好きです!



ドッジボール大会ではキャプテンでした!

編集後記

「緑の風」は今回で29号目。長い間継続して発行していると昨年と同じ行事を紹介するなんてこともあるのですが、やっていることは同じようでも、先生や取材担当者、そして主役である子どもたちの顔ぶれが変われば、全く違う内容の記事が出来上がります。そういう意味で、私たちは毎回一期一会の取材をさせていただいているのだと思います。

今号の特集タイトルを付けるとしたら、「意外と知らなかった!をお見せしますスペシャル」。保護者が足を運ぶことの少ない普段の授業風景や図書室のことなど、より日常に近い子どもたちの学校生活を中心にレポートしています。広報ボラからの無茶ぶりに快く応えて下さったP.G.T.本部の皆さんによる表紙も良い感じに仕上がりました。

さて、今期はどんな一期一会の出会いがあるのでしょうか。広報ボラ一同、楽しみながら張り切って活動して参ります。1年間どうぞよろしくお願いたします!



山田



人見



吉竹



持田



初鹿



大鳥



高橋



西谷



check!

学校のホームページで「緑の風」第1号から全て見ることができます。是非ご覧ください!